

## ☆第2土曜日・観察会

新年初めての観察会では書き初めを行いました！単なる普通の書き初めではなく、森に生えている笹での筆作りからスタートです。



筆作りに入る 笹筆の書き初め！みんな素敵です前に「笹と竹をどう見分けるのか？」という話をしました。笹と竹は明確には区別されていないのですが、一説によりますと、マダケやハチクのように竹の皮が成長後に脱落するものを竹、クマザサ、ヤダケ、メダケのように竹の皮が腐るまで脱落しないものを笹と呼ぶそうです。地域によっては葉っぱをメインとして使用するものを笹、茎をメインとして使用するものを竹という説もあります。確かに、この森でも笹の大きな葉っぱで笹舟を作りますし、枝払いをした後の竹の茎の部分で竹工作をしています。

笹筆の作り方はとってもシンプルで、笹を適度な長さに切り、一方の端を金槌で何度も叩きます。すると、笹が縦の繊維にそってさけていくので、まるで筆のような毛の状態になります。さらに、今回は笹ペンも作りました。先程の笹筆の反対側をナタで斜めに割り、ドリルで穴をあけてインク溜りの部分とし、最後はナイフでペン先を整えました。

書き初めのお題は「今年どんな年にしたいかを漢字1文字で表現すること！」です。笹筆で漢字一字を書いて、その後笹ペンで「その一字に込めた想いは？」といった説明書きを余白の部分に書き加えていきました。同じ漢字でも字に込められた意味が違っていたり、墨を薄めて絵で表現されたり、それぞれに想いのこもった書き初めが出来上がりました。

2月の第2土曜日に「どんと焼き」をします。時期的には遅くなりますが、今回作った筆やペン、書き初めを一緒に焼いて、今年一年の無病息災を祈願しましょう！

## ☆第2土曜日・作業内容

この日の作業は竹の間伐、落ち葉かき、昼食づくりの3つでした。

### 1:竹の間伐

生えすぎた竹を間伐し、材は工作に使います。今回は細めの竹を伐りました。ベテランの人たちが集まり、予定した分をスムーズに終わることができたので後半からは落ち葉かき班に合流しました。

### 2:落ち葉かき

落ち葉かきは交流広場付近で行いました。前日に雨が降ったので作業は出来ないかも、というところでしたが、朝に確認したところ乾いてきていたので作業は実施。そして一日良い天気だったので竹の間伐班も合流して作業しました。

そんな作業中の話題は落ち葉かきは何故するのかということ。秋から積もりに積もった落ち葉は地面を覆い尽くしています。このままだと、土の中



よいしょ！大雪玉ころがし！

で眠っている種に光があたらないので、地表が見えるまで落ち葉かきをします。そうして、春にまた新しい植物が生えてくることが出来るようにしています。集めた落ち葉はカブトムシのベッドと呼んでいる竹柵へ入れました。今回の作業の成果を、また春に森へ来て、感じてもらえると思います。

### 3:昼食作り

お昼ごはんは頂き物も多く、お正月らしく豪華になりました。味ご飯、祝い肴三種、鹿肉、豚汁、カブ煮、サラダ、漬け物二種、キウイ、そして食後のデザートにもう一品、毎年恒例のぜんざいもありました。

鹿肉は、氷点下が続く北海道へ行った前スタッフ「きっしー」からの頂き物で、他には山梨の野沢菜、地元のお餅、おせちなど、美味しい頂き物、ありがとうございました！

**2月8日(第2土曜日)、26日(第4水曜日) 9時～(遅刻可)**

遊林会の作業会議は **2月5日(水) 午後7時頃**

**主 催 者 : 遊 林 会**

連絡先(遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL: <http://www.yurinkai.org/>

E-mail: [ikimono@e-omi.ne.jp](mailto:ikimono@e-omi.ne.jp)

森のブログは「かわべえブログ」で検索！

## ☆第4水曜日の作業

チラホラと雪が降る中で始まった第4水曜日。数日前の積雪の影響もあり、雪の日でもできる作業に絞って取りかかりました。まず、ナラ枯れ白テープ&白シートはがしです。初めてこの森を訪れる人から「このテープは何？」と質問されることが多いのですが、これはナラ枯れを防ぐために5年前に遊林会の作業で巻いていたものです。あれから月日が経ち、ナラ枯れのピークが過ぎたためはがすことにしたのですが、森のあらゆるところに巻いてあるので手分けをして一斉に取りかかり、すべて取り去ることができました！

その後、水辺の林周辺に出現してきた細竹退治。さらに、枯れて木の上のほうで引っかかっている枝や、雪の影響で折れてしまった枝を回収しました。

お楽しみのお昼ごはんは、おから煮、ほうれん草と人参のおひたし、ねぎ煮、キャベツのサラダ、ホワイトシチュー。お野菜たっぷりでもおいしくいただきました！

## ☆1月の木ままクラブ

1月16日は、18人の大人数での作業でした。そのうちの5人は、レイカディア大学の学生さんで、16日から2月初旬まで、炭焼名人の指導の下、材取り、窯詰め、火入れ、炭焼き、炭だしまで全ての炭焼きの行程を体験されます。作業は、今年枯れたコナラの伐採です。伐採した木は、高さ20m、樹齢約60歳でした。玉切りにした幹や枝は、炭焼き用に割り、炭焼き小屋の前へ積みました。人手がたくさんあったため、木を伐採し、薪割りの作業もあっという間でした。お昼からの作業は3つ。落ち葉かき、細竹退治、防火用に森に設置しているドラム缶を新調したため赤色にペンキを塗る作業を行いました。

1月30日は、20人。雨降りの中、テント下での作業です。1つ目は、ファイヤーサークルのフタ作り。秋になると毎日焼き芋を焼くため、ファイヤーサークルの灰を濡らさないために毎日フタをします。設計図を見ながら作業をすすめ、もう一工夫必要なところがあればみんなで意見を出し合いながら、以前のフタより軽く、雨漏りしないものがもうすぐできあがりそうです！もう1つは、前回伐った薪を炭窯に詰め、火をつける作業を、レイカディア大学のみなさんと行いました。

2月の活動は13日、20日です。

## ☆スタッフルーム情報

1月中旬、モリイコ！の活動日に雪が降り積

まりました。雪を見ておおはしゃぎの子どもにつられて、スタッフも一緒に大きな雪だるまを作ったり、雪合戦をしたり、雪の上で寝転がったり…大声を出し、走り回り、本気を出し切った後のスタッフの一言、「一年分、笑った！」保全作業、モリイコ、学校の対応以外は、パソコン前での仕事が多いため、体も心も、いい気分転換になりました。

## ☆モリイコ！の子どもたち

モリイコ！9回目の活動は、冬の運動会と足湯をしました。運動会は、マツボックリの玉入れや「青色の実」や「燃えやすい葉っぱ」など、カードにかかれた物を森の中から探してくる探し物競争など森ならではの運動会で、子どもたちは汗をかくぐらい森の中を走り回っていました。足湯では、「お鍋を使わずにどうやってお湯を沸かすか」を子どもたちと考えて、「たき火で石を焼いて、焼き石で水を温める」方法をとりました。モリイコ！の活動では何回かたき火をしています、今回は初めてスギの葉っぱや薪を森の中から自分達で探してきました。寒さにも負けず、運動会と足湯で暖かく活動できました。

モリイコ！Sの9回目は、森の保全の一環である竹切りと10回目にむけての準備です。竹は繁殖力が強く、放っておくと森中が竹林になるので、竹を切っているという説明をしてから竹を切りました。切るのは楽しいのですが、切り倒した後が大変です。子どもたちは、2～3人で協力してなんとか引っ張り出すことができました。その後、切った竹を使って、実などを飛ばせる竹鉄砲を作りました。午後からはノコギリの使い方やたき火のつけ方を「伝える」練習をしました。子どもたちは、得手不得手はありますがノコギリもたき火もできます。今回は隊長や他の子どもに説明をしてみました。しかし、「自分ができる」ということと「他人に伝える」ということは全く違うもので、いざ説明すると上手く言葉にできなかったり、緊張してしゃべれなくなる子もいました。次回、10回目は家族を招待しての本番です。緊張するでしょうが、きっとモリイコ！Sの子どもたちならば、やってくれる！と思っています。

## ☆2月の作業は…

2月は、落ち葉かきやササ刈りを行う予定です。お昼は冷えた身体にしみる、あったかい汁物や季節のお野菜を使ったお料理です。

発行者：東近江市建部北町 河辺いきものの森センター内 遊林会 代表 井田三良 Tel 0748-20-5211

この用紙にはkikitoペーパーを使っており、滋賀県湖東地域の森の保全に寄与しています